



消化器外科：専門医教育プログラム

専門医に必要な執刀数を、 一年間で経験できる教育プログラム

- ✓ 若手から愛知県トップクラスの執刀経験（開腹・腹腔鏡手術）ができる
- ✓ ロボット支援下による直腸・結腸切除術、胃切除術を施行
※従来型よりも操作性・機能が向上した最新鋭機器『ダヴィンチXi』を設置。
- ✓ 定型的な外科手術に加え、超進行癌の切除、肝胆膵領域の手術など根治性を重視した高難度拡大手術も実施。
- ✓ 大学病院や癌専門病院のような、高いレベルの診療が行える複数名の専門医が在籍。



内視鏡手術支援ロボット「ダビンチSP」

切開創 1 つで手術が可能のため、患者さまの体への負担が軽減され、整容性の向上が期待できます。「ダビンチ S P」手術実施は国内で 5 施設目。

年間手術件数1,622件（愛知県尾張西部地域No.1）

代表的な症例数

胃・十二指腸（悪性）	69件	肝臓疾患	27件
結腸（悪性）	107件	胆道疾患（悪性）	11件
直腸（悪性）	54件	膵臓疾患	14件
虫垂	120件	肛門疾患	296件
鼠径ヘルニア	145件	緊急手術	316件

後期研修医1年目で経験できる症例数

- ▶ モデルローテーションケース
(消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺内分泌 **※各3か月**)



専攻医1年目
経験症例



消化器外科

執刀：**57**件
(助手：60件)



呼吸器症例

執刀：**8**件
(助手：50件)



心臓血管外科症例

執刀：**1**件
(助手：48件)



乳腺症例

執刀：**11**件
(助手：39件)

数多くの執刀ができることが魅力です。

専門医取得までは必ず指導医とペアでオペを行うため、安心して学ぶ機会があります。

全ての分野に精通する外科の医療体制

消化器外科



菅本彰紀

副院長 / 外科部長

卒年：H6
出身大学：福島県立医科大学
得意分野：肝胆膵領域

肛門外科



佐藤知洋

外科部長 / 肛門外科部長

卒年：H8
出身大学：福井大学
得意分野：へ毛



岡田和幸 外科医長

卒年：H22
出身大学：京都大学
得意分野：消化管全般

da Vinci System / Console Surgeon



岩本久幸 外科医長

卒年：H26
出身大学：滋賀医科大学
得意分野：消化管全般

da Vinci System / Console Surgeon



鳥居 隼 医員

卒年：H25
出身大学：名古屋市立大学
得意分野：全般（救急）

da Vinci System / Console Surgeon



戸崎 達 医員

卒年：H28
出身大学：山口大学
得意分野：消化管全般

da Vinci System / Console Surgeon



関 健太 医員

卒年：H28
出身大学：日本大学
得意分野：消化管全般

da Vinci System / Console Surgeon

若手



後藤優弥 専攻医

卒年：R4
出身大学：長崎大学



原 諒一 専攻医

卒年：R4
出身大学：岡山大学

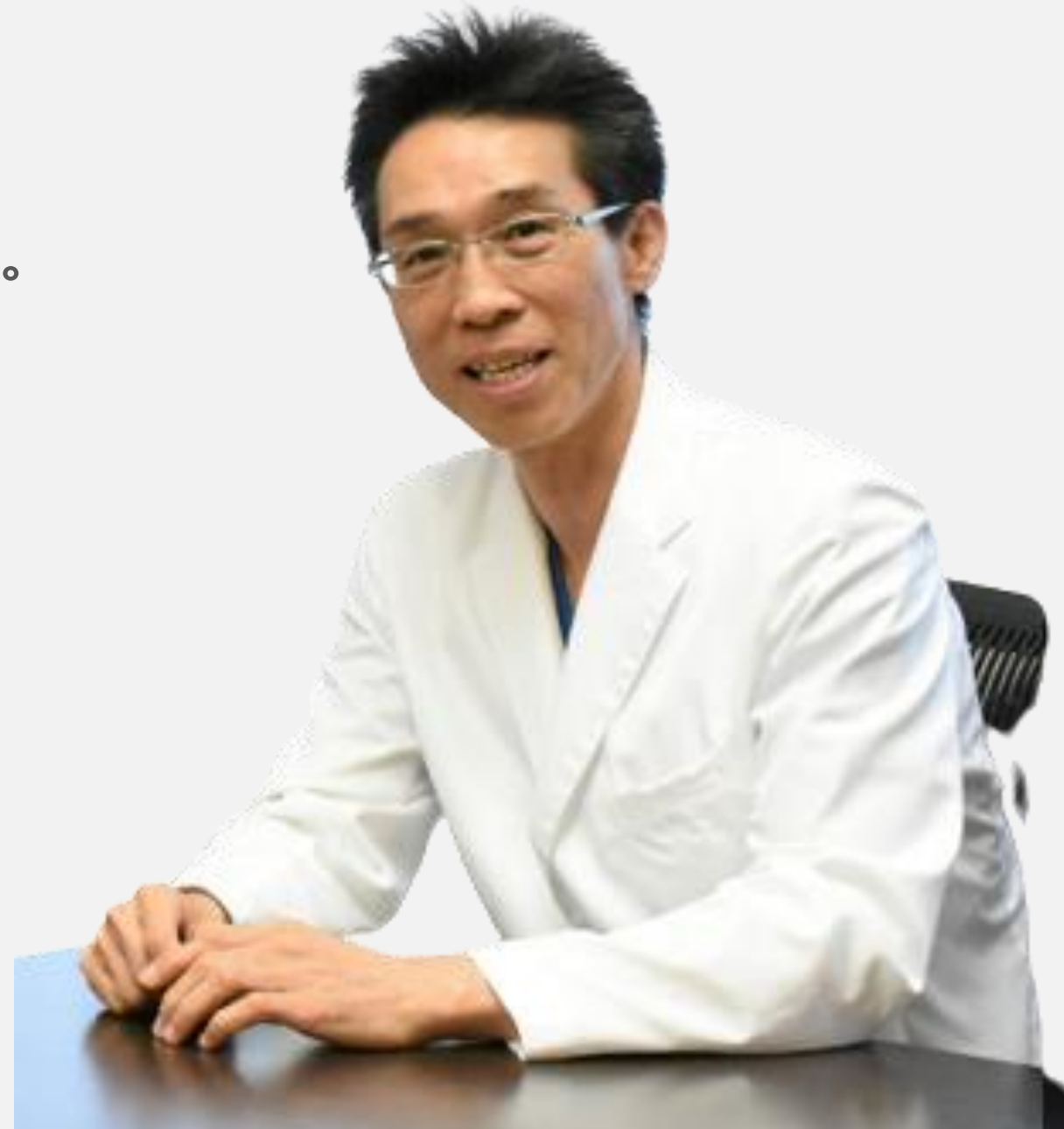


堀 雄希 専攻医

卒年：R4
出身大学：金沢大学

外科医の育成 5つの指針

- 1) “医療人”としての自覚・責任感、“人間力”としての接遇・コミュニケーション能力をもった医師の育成。
- 2) 多くの手術を執刀し（開腹・腹腔鏡）“手術ができる外科医”の育成に力を注いできました。
- 3) 各種専門医・認定医資格の早期取得に向け、学会発表・論文作成ができる外科医の育成。
- 4) 技術認定医取得に向けたシステム構築（ビデオカンファレンス・シュミレーターでの練習・取得、希望手術の割り当て/手術メンバーの固定化。）
- 5) 若手医師にもDaVinciによるロボット手術を安全に施行できるような環境づくりを目標に掲げ、外科医メンバー全員で取り組んで参ります



副院長 兼 外科部長 笹本 彰紀

教育担当医の声

教育担当医 岩本 久幸

専攻医として当院に入職し、現在医師9年目になります。
当院での外科研修・スタッフ経験を通じて予定手術・緊急手術を含む手術手技を中心とし、周術期管理・化学療法・放射線化学療法・Conversion suregery・緩和ケアに至るまで、主治医として治療の主軸を考え、治療することができるようになりました。

現在は内視鏡技術認定医取得に向けて大腸手術を中心にその他の臓器手術も執刀・助手経験を重ねています。
ただ自分が執刀医としてのスキルを上昇させ認定医を取得するだけでなく、後輩に技術・知識など全般的に指導できるようになるのが今の目標です。



シミュレーション教育

当院では超進行癌の切除など高難度拡大手術と腹腔鏡を用いた低侵襲手術を積極的にを行っています。

年間手術件数は1600を超え、そのうち全身麻酔を要した手術の約50%を腹腔鏡で行っています、

当科では、鏡視下手術において、安心して手術に臨めるように、シミュレーターでの経験を複数回積んだ後、手術に臨んでいただいています。

希望するサブスペシャリティ領域を中心に学べる 柔軟な外科研修プログラム



- ▶ 卒後3年目は、基幹施設（一宮西病院）で、外科サブスペシャリティ領域を3か月ごとにローテーションします
- ▶ 卒後4年目は、研修連携施設（愛知医科大学、聖路加国際病院、浦添総合病院、手稲溪仁会病院、聖マリア病院）に1年間（※6か月に短縮などは要相談）研修を行います
- ▶ 卒後5年目は、志望する分野にローテーションを行います。不足症例については、各科をローテします。また外科サブスペシャリティ領域の専門医研修を始めることができます

消化器外科としての到達目標

- ▶ 半年ごとの面談にて到達度を評価面談にてチェック（4年目外病院の研修時も実施）
- ▶ 常に上級医がペアとなり指導するため、手技も安全に学ぶことができる

卒後年数	一般目標：臨床能力	手技	アカデミック
3年	<ul style="list-style-type: none"> ①手術助手経験を積み、解剖や手術手技、指導医とともに周術期管理を学ぶ ②良性疾患の開腹手術・鏡視下手術、悪性疾患の開腹手術を執刀経験する。 ③外来診療を行い、術前の手術説明・癌サーベイランス・癌化学療法を理解し経験する ④緊急疾患の治療法に対して指導医と相談し、適切な判断・対応ができる ⑤担当した患者の外来・入院での緩和ケアを指導医とともに経験する 	<p>≪数値目標≫術者4-5件/月 第1助手7-12件/月</p> <p>虫垂切除術（腹腔鏡・開腹）、胆嚢摘出術（腹腔鏡・開腹）、結腸切除術（開腹）、直腸前方切除術（開腹）、幽門側胃切除術（開腹）、小腸部分切除術（腹腔鏡・開腹）、人工肛門造設術・閉鎖術、イレウス解除術、消化管穿孔・腹膜炎に対する緊急手術（腹腔鏡・開腹）、CVポート造設術、リンパ節生検など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方会（外科学会・臨床外科学会）での学会発表
4年	外部病院研修：半期ごとに手技／臨床能力／病歴の要約状況などを面談し評価		
5年	<ul style="list-style-type: none"> ①鏡視下・開腹下手術で指導医の下、主体性を持った手術ができるようになる。 ②緊急疾患や周術期管理について指導の下、主体性を持った管理ができるようになる。 ③初診外来・癌サーベイランス・癌化学療法を理解し、実践している。 	<p>≪数値目標≫術者3-4件/月 第1助手 7-12件/月</p> <p>腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術、幽門側胃切除術（腹腔鏡）、胃全摘術（開腹）、腹腔鏡下直腸前方切除術、腹会陰式直腸切除術（開腹）、大腸全摘術（腹腔鏡・開腹）、痔体尾部切除術（開腹）、肝部分切除術（開腹）、総胆管切開切石術（開腹）など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国学会発表・論文執筆を行い、外科専門医資格取得に向けた準備をする。

日本全国に豊富な連携先

- ▶ 医局に縛られず全国の有名病院との連携により、様々な専門医資格を取得可能です

沖縄県



浦添総合病院

病床：334床 救急指定：3次急
 救急：5,357台/年
 入院：289,810/年
 OPE件数：3,222件/年
 救急医療からがん治療まで、豊富な執刀症例を経験できる

愛知県



愛知医科大学病院

病床：900床 救急指定：3次急
 救急：5,784台/年
 入院：259,515名/年
 OPE件数：11,540件/年
 ドクターヘリやドクターカーを配備、救急医療から災害医療まで幅広く対応

北海道

手稲溪仁会病院

病床：670床 救急指定：3次急
 救急：5,802台/年
 入院：18,096名/年
 OPE件数：8,549件/年
 ハイボリュームな症例で肝胆膵領域を幅広く経験できる



福岡県



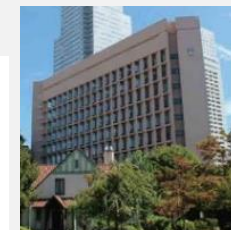
聖マリア病院

病床/1,097床 救急指定/3次急
 救急：10,215台/年
 入院：17,048名/年
 OPE数：7,735件/年
 九州最多の救急車受入れ、救急医療から、移植、がんまで幅広い診療に対応

東京都

聖路加国際病院

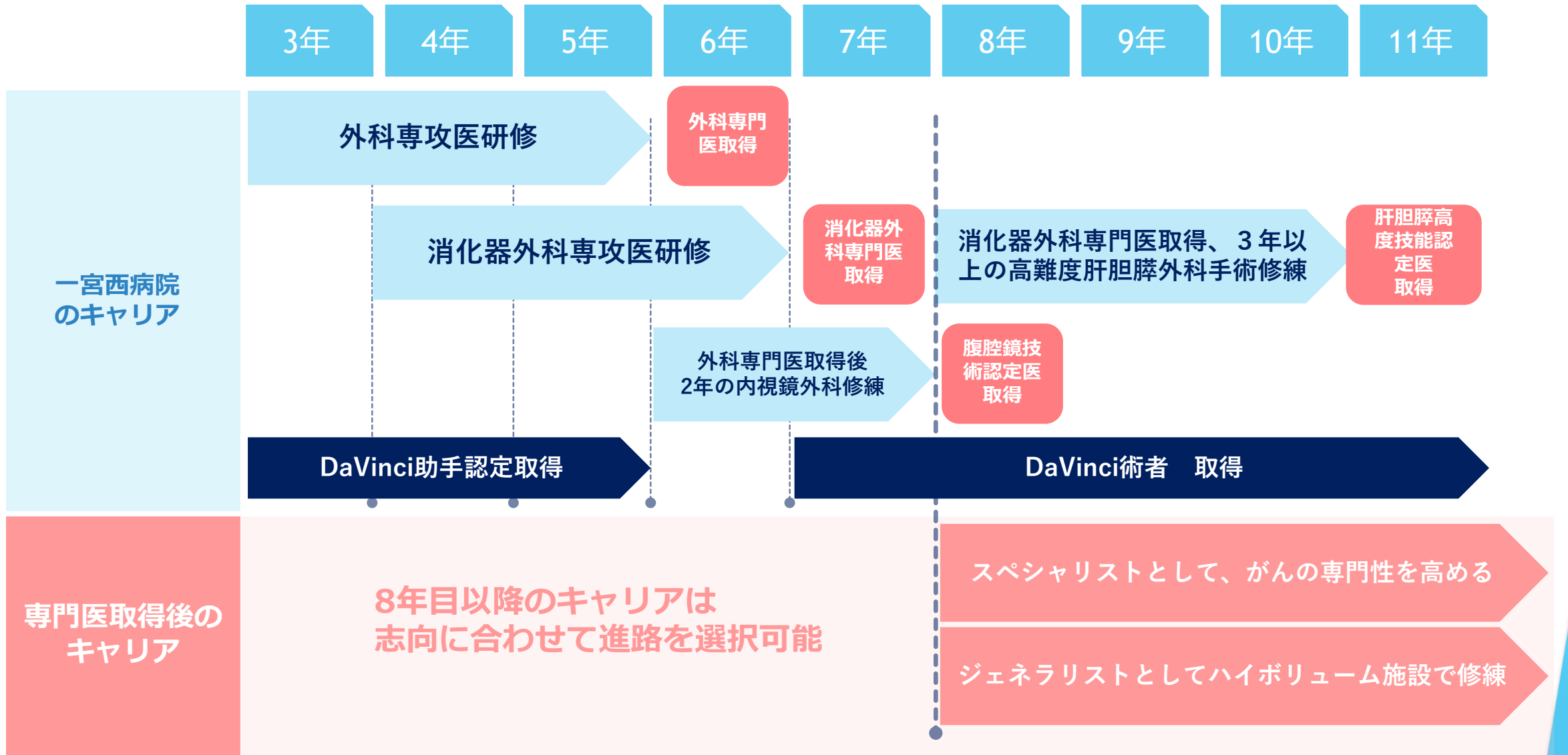
病床：520床 救急指定：3次急
 救急：11,262台/年
 入院：176,500名/年
 OPE件数：9,526件/年
 乳腺外科症例：全国1位



一宮西病院



消化器外科医としてのキャリアパス



後輩へのメッセージ

「意欲があるならここに来い！」

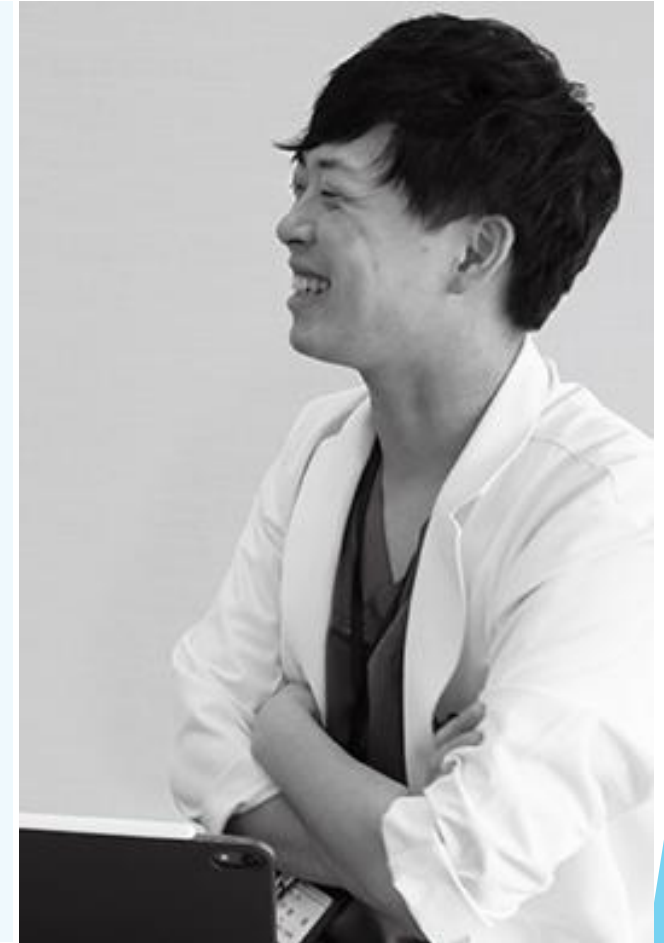
僕は「外科医は手術をしてこそ外科医」という思いがあって、とにかく手術を経験したくて、一宮西病院を選択しました。若手に執刀経験がしっかりある病院はそこまで多くなくて、最初は第3・4助手や見学ばかりで全然執刀できないことが多いのですが、ここは相当数の手術が出来るし、指導医が多種多様だし、ローテーションでいろんな科の手術が経験できるのが魅力でした。

半年で、執刀が60件くらい、助手も160件近く入ったかな。内容も、いわゆる研修医がやるような虫垂炎やヘルニアだけじゃなくて、悪性腫瘍関連の手術もバンバンできて、執刀内容が凄く充実しています。しかも腹腔鏡と開腹を満遍なく経験できて、どちらかに偏っていないのも良いところかと思います。

また、件数は多いけど、ここでは上級医の先生とマンツーマンでやらせてもらえるから安心感があるし、集中にも繋がっています。

指導は手厚いですし、指導医はもちろん、どの先生に聞いても良いついてというのが嬉しいです。ちゃんと自分から積極的にいけば凄く勉強になる。教えたがりの先生がとっても多いです！

「とにかく手術がやりたい」って人はここに来い！何でもかんでもやらせてくれるから！ただ、オンは本当に忙しいですけどね。すぐにへこたれない精神力は必要かもしれません。勿論ゆっくりやって学べることも多いと思うけど、ここはオンコール体制や当直も役割分担がしっかりしているから、休みのときはしっかり休める。僕はオンオフつけたほうがやる気になるタイプだったから、気に入ってます。あ！あと、病院が綺麗！当直室とかビジネスホテルみたいで、設備はかなり整ってますよ！
希望があれば見学の案内をしますよ。意欲ある新しい仲間と会えることを楽しみにしています！



外科専攻医卒業Dr
戸崎医師

一宮西病院で取得できる消化器外科関連の 専門医資格一覧

専門医資格名	取得年次（卒後）
日本外科学会 外科専門医	6年目～
日本消化器外科学会 消化器外科専門医	7年目～
日本内視鏡外科学会 内視鏡技術認定医	8年目～
日本肝胆膵外科学会 肝胆膵高度技能専門医	11年目～
日本胆道学会認定指導医	10年目
日本外科学会 外科指導医	10年目～
日本消化器外科学会 消化器外科指導医	12年目～

《認定されている施設》

日本外科学会 外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会 専門医制度 修練施設、日本大腸肛門学会 関連施設、
日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設B、日本胆道学会認定指導医制度指導施設、日本膵臓学会指導施設